

アセットトライ

AT ADMINISTRATION (CAYMAN) LIMITED

作成日：2015年4月30日

2015年3月運用報告書(2015年3月1日～2015年3月31日)

純資産の推移(一口=百万円)

【年平均騰落率：6.07%】

	設定時 (1999/2/1)	2014年11月末	2014年12月末	2015年1月末	2015年2月末	2015年3月末
1口あたりの 純資産価額(円)	1,000,000	2,016,730	2,004,358	1,931,325	1,938,896	1,981,356
月次騰落率	—	0.55%	-0.61%	-3.64%	0.39%	2.19%
設定来騰落率	—	101.67%	100.44%	93.13%	93.89%	98.14%

各セクターごとの損益

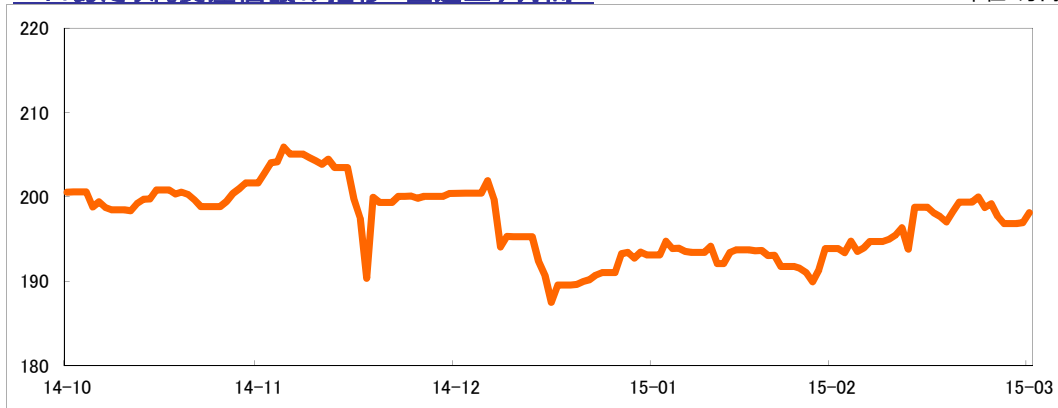
2015年3月の運用成績はプラスとなり、アセットトライは前月比2.19%の利益となりました。

通貨・為替	金利	株価指数	エネルギー	金属	農産物	その他商品
+	+	++	-	+	-	-

(注) +は利益、-は損失、その数が損益の大きさを表しています。

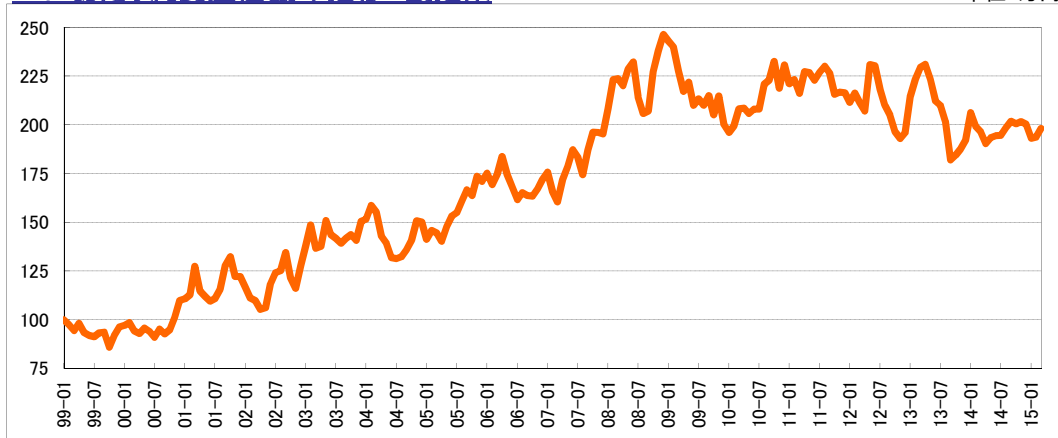
一口あたり純資産価額の推移 直近五ヶ月間

単位：万円



一口あたり純資産価額の推移 設定来

単位：万円



マーケット概要

為替相場は、米ドルが対ユーロではドル高基調を継続し中旬には1ユーロ=1.10ドル台まで下落するなど、依然としてドル強含みの展開となりました。ギリシャの財政問題やウクライナ情勢等の不透明感も残りECB(欧州中央銀行)の積極的な金融緩和も、ユーロ安につながりました。円相場は当初の119円台半ばより円安傾向となりましたが、122円台半ばへの円安にとどまりました。

主要国の短期金利は、ドル、円ともに低金利政策を維持し低水準での横ばい、ユーロは一部マイナス金利が続きました。長期金利は、米国の利上げ時期をめぐる思惑から、米国債で当初は上昇しましたが、次第に低下。ユーロ圏では欧州中銀(ECB)の量的緩和実施により、ドイツ債利回りは低下傾向。国内では短期的な変動があったものの、概ね横ばいとなりました。

主要国の株価指数は、まちまちの動きとなりました。米国株はNYダウが月初に最高値を更新した後、経済指標に強弱が混じるなか利上げ時期についての見方も錯綜し、下落傾向。欧州は英国株が政治的不透明から伸び悩む一方、ユーロ圏では欧州中銀の量的緩和実施により、仏株が堅調となりました。日本株は年金系の買いもあって、日経平均株価が約15年ぶりの高値となりました。

原油相場は、ブレントは米国の雇用が堅調でドル高となったほか、米国内の石油在庫増加もあって、当初の62ドルから一時52ドル台へ下落しました。米FOMCを経て早期の利上げ観測が後退すると反発。イエメンの武装勢力に対しサウジアラビアなど中東諸国の軍事介入が行われると急伸、60ドルに迫りましたが需給の緩和傾向は変わらず、55ドルへ反落して越月しました。

金相場は、1,223ドルを高値に下落し、中旬には安値1,143ドルをつけましたが、下旬にかけて反発に転じ上昇傾向となりました。当初は年内の引締めが見込まれる米国の金融政策見通しを背景に、ユーロ等欧州通貨に対するドル高が金相場を圧迫し、調整色の強い展開となりました。その後、米国株式市場が方向感を失う中で、イエメン情勢の緊張から金への関心が戻りました。

大豆相場は、当初の1.030セントから下落傾向となりました。当初のアルゼンチンの洪水被害、ブラジルのトラック業者ストライキを懸念した高値から、ドル高による米国大豆割高感から輸出成約の大口キャンセルが相次いだこともあり急反落。原油高を背景に反発する場面もありましたが、今春の米国大豆の作付面積増加見通しが圧迫となり970セントへ水準を切り下げました。

《投資家の皆様へ》1999年3月以降に追加出資された方は、取得口数が参加時期により異なりますので、別添の募集月別のアセットトライ評価額一覧表にてご自身の損益をご確認ください。

【お問合せ先】岡藤商事株式会社 コールセンター

フリーコール：0120-33-7639(受付時間：土日祝日を除く平日8:30～17:00)

E-mail：center@okato.co.jp Web site：http://www.shouhin-fund.com/index.html#assettry

◆当資料は金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。◆騰落率の数値は、運用開始日の1口当たりの純資産価額(¥1,000,000)を基準に算出しています。(小数点以下第3位を四捨五入)。◆当ファンドの運用成績は過去の実績に基づいたものであり、将来の運用成績を保証するものではありません。◆当ファンドの純資産価額は運用対象である商品、有価証券、通貨、金利等の先物取引や現物取引などの値動きの影響を受け、投資元本を割り込むことがあります。◆当資料は当ファンドの受益者へ情報を提供することのみを目的としたものであり、ここに記載される商品の売却や購入について勧誘するものではありません。◆当ファンドは円建の積極運用追加型商品ファンドです。

「アセットトライ」に係る手数料等について

参加手数料：申込金額の2.16%（消費税含む。）

解約手数料：解約金額の1.0%（解約時にお客様が受け取る実際の受領金額は、営業指定銀行における海外送金手数料及びお客様受取銀行における事務手数料が解約償還金額から控除された金額となります。）

管理料：純資産価額の年率1.5%

先物投資顧問料：運用委託額の年率2.0%

成功報酬：運用収益の20%

先物取引手数料：（海外先物取引/海外先渡取引）原則として1枚（往復）当たり上限15米ドル
（外国為替取引）原則として百万米ドル（又は外貨の相当額）に対して上限15米ドル

業務代行報酬：純資産価額の年率0.15%

その他費用（実費）：初期費用、送金銀行に対する手数料、先物運用会社の会計監査費用、営業者及び先物運用会社の期中管理に係る費用、営業者の登録に係る費用、期中に於ける弁護士・税理士費用（ケイマン諸島に於ける弁護士費用を含む。）、関係会社及び先物運用会社のシリーズA株式に係る計算・会計事務に関わる費用、営業者株式の信託会社に対する受託費用・本商品ファンド継続販売のための書面に係る企画・改訂・印刷費用等

管理料、先物投資顧問料、成功報酬、先物取引手数料、業務代行報酬及びその他費用については、事前に計算できないため、当ファンドに係る手数料等の総額または上限額を表示することはできません。

「アセットトライ」に係るリスクと留意点

当ファンドは、先物市場等の値動きにより、大きな収益を得る可能性がある反面、投資元本を割り込む損害を受ける可能性もあるハイリスク・ハイリターンの商品です。投資する商品は多岐にわたり、各々の商品に対して買いのポジションも売りのポジションも持つため、先物市場又は外国為替市場等の特定の指標の値動きが先物運用顧問会社の判断と異なる場合は損失が発生することがあります。当ファンドは元本や収益が保証されているものではありません。資産の一部が外貨建てで運用されるため、為替の変動により収益・損失が増減することがあります。預金保険の適用はありません。当ファンドでは、1口当たりの純資産価額が700,000円を下回った場合には繰上げ償還することがあります。クーリング・オフの適用はありません。投資家が取得する商品ファンド関連受益権は、相続、遺贈、破産その他これらに準ずる場合または金融商品取引業者が転売する場合を除き、第三者には直接譲渡できません。契約締結前交付書面を十分にお読みいただき、当ファンドの特徴とリスクの内容をご理解下さい。

金融商品取引業者の概要

商号：岡藤商事株式会社

登録番号：関東財務局長（金商）第2608号

本店所在地：東京都中央区新川2-12-16

加入している金融商品取引業協会：一般社団法人第二種金融商品取引業協会